（様式Ｄ１）「国家課題対応型研究開発推進事業」原子力基礎基盤戦略研究プログラム

廃炉加速化研究プログラム　国内研究（　　　　　）申請書

()内は公募の対象である「テーマＤ１」又は「テーマＤ２」を記入してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | | |  | | | | | | | | | | |
| 代表  機関 | 機関名 | |  | | | | | | | | | | |
| 代表者 | | 役職名 | |  | | 氏　名 | | | | |  | |
| 所在地 | | 〒 | | | | | | | | | | |
| 研究  代表者 | ふ り が な  氏　　名 | |  | | | | | 役職名 | | |  | | |
|  | | | | |
| 所属部署名 | |  | | | | | | | | | | |
| 連絡先 | | Tel.　　　　　　　　　Fax.　　　　　　　　　E-mail | | | | | | | | | | |
| 勤務先住所 | |  | | | | | | | | | | |
| 事務連絡担当者 | ふ り が な  氏　　名 | |  | | | | |  | | | | | |
|  | | | | |
| 所属部署名 | |  | | | | | | | | | | |
| 連絡先 | | Tel.　　　　　　　　　Fax.　　　　　　　　　E-mail | | | | | | | | | | |
| 再委託先機関研究  責任者 | ふ り が な  氏　　名 | |  | | | | | | 役職名 | |  | | |
|  | | | | | |
| 所属部署名 | |  | | | | | | | | | | |
| 連絡先 | | Tel.　　　　　　　　　Fax.　　　　　　　　　E-mail | | | | | | | | | | |
| 研究概要 | 研究課題の概要について明瞭かつ簡潔に記載してください。（４００字程度） | | | | | | | | | | | | |
| 再委託先  機関及び  所要見込額（概算）  ※ | 機関名  （研究代表者及び再委託先の研究責任者名） | | | 年度別所要見込額（単位：千円）　※該当の年度のみ記入してください。 | | | | | | | | | |
| 平成27年度 | | 平成28年度 | | | | 平成29年度 | | | 計 | |
| 代表  機関 | （　　　　　　　） | |  | |  | | | |  | | |  | |
| 再委託先機関 | （　　　　　　　） | |  | |  | | | |  | | |  | |
| 再委託先機関 | （　　　　　　　） | |  | |  | | | |  | | |  | |
| 計 | | |  | |  | | | |  | | |  | |

※上記再委託先機関にかかる欄は、再委託先機関がない場合は記載の必要はありません。

※「再委託先の研究責任者」欄において再委託先機関が複数ある場合、適宜欄を追加してください。

（様式Ｄ２）提案課題全体の研究計画

本ページの内容を５ページ以内にまとめてください。

|  |
| --- |
| 1. **全体計画**   1-1～1-4について、「公募の対象」に記載されている事業内容や「審査基準」の記載内容を踏まえ、具体的かつ定量的に記載してください。 |
| １－１　研究目標の妥当性  ・本研究目標の達成が東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃炉に向けた課題解決にどのように貢献するかということを具体的に記述してください。  ・目標のレベルについて、対象とする技術に関する国家プロジェクトなどの最近の動向や､実際の廃炉作業に伴う問題点を正確に把握していることが分かるように記載してください。  １－２　革新性、独創性、新規性  ・最近の国内外の研究動向を踏まえて、提案する研究課題が、革新性、独創性、新規性に富む先端的研究であることを記述してください。  １－３　研究効果、発展性  ・本研究課題の成果の実用化に向けた発展性や東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃炉への貢献について記述してください。また、原子力基盤技術の向上に寄与する効果についても記述してください。  ・他の技術分野への波及効果が期待できる場合には、それについても記述してください。  ・研究の成果が廃炉に関する課題の解決に役立つことを見据えており、研究終了後も含め実用までに必要となる課題を認識していることが分かるように記載して下さい。（実用化までに解決すべき課題はこれだけあるが、今回の研究期間ではこの課題の解決に取り組む等。）  １－４　研究計画の妥当性  ・後続の「２．研究内容」、「３．研究年次計画」及び「４．研究実施体制」をまとめて計画全体が目標達成のために過不足なく立案されていることを記述してください。 |

（様式Ｄ２つづき）

研究目標を達成するための研究方法について、研究項目毎に内容を記述してください。その項目を担当する機関を（）内に記載してください。（注：１～２ページ程度でまとめてください。）

|  |  |
| --- | --- |
| ２．研究内容 | |
| 研究項目 | 研　究　方　法　（担　当　機　関） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（様式Ｄ２つづき）

研究目標を達成するためのロードマップ（年次計画）を記述してください。

この時点で何を達成すべきかのマイルストーンがわかるようにしてください。

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | | |
| 研究項目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 経費の総額 |
|  |  |  |  |  |
| 直接経費 |  |  |  |  |
| 間接経費 |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

（様式Ｄ２つづき）

【例】

(1)研究項目ごとに記載してください。また、実施機関が分かるように記載してください。（線表の下に直接経費の見込額を記入してください。）

(2)下の表は３年計画を例示したものであり、研究期間に応じて適宜記載してください。

(3)間接経費は、直接経費の合計の３０％としてください。

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究項目 | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 経費の総額 |
| (1)・・に関する研究  （細目まで記載）  　①・・・に関する試験  　②・・・に関する解析  (2)・・に関する研究  　　　　　・  　　　　　・  (3)・・に関する研究  ・  ・ | の準備  5,000  2,000  2,000  5,000 | 3,000  4,000  3,000  5,000  の試験及び評価 | 3,000  5,000  4,000  取りまとめ  3,000 | 12,000  9,000  5,000  13,000  5,000 |
| 直接経費 | 14,000 | 15,000 | 15,000 | 44,000 |
| 間接経費 | 4,200 | 4,500 | 4,500 | 13,200 |
| 合　　計 | 18,200 | 19,500 | 19,500 | 57,200 |

（様式Ｄ２つづき）

(1)下の図はイメージであり、記載形式は自由です。研究課題を構成する研究項目、研究内容、研究チームを構成する各機関の実施分担及び全ての研究の実施者の担当内容、指揮命令系統が分かるように記載してください。

(2)エフォート（研究充当率）について

総合科学技術会議におけるエフォートの定義「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（%）」に基づきます。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育等を含めた実質的な全仕事時間を指します。一人の研究の実施者が複数の研究項目に係わる場合は、その項目に係わるエフォートを記載するのではなく、この研究課題に係わる全エフォートを各研究項目に記載（全て同じ値）してください。

**【例示】**

|  |
| --- |
| ４．研究実施体制（体制図） |

「エフォート（研究充当率）○○％」を記載してください（以下、研究の実施者全て同じ）。

研究項目間の関係をそれぞれ記載

研究全体の取りまとめ：研究代表者

（２）＊＊＊（研究項目２の内容）

（１）＊＊＊（研究項目１の内容）

技術者Ｆ

研究者Ｄ

研究者Ａ

研究者Ｂ

研究者Ｅ

研究者Ｃ

・試験　　　・実験装置設計・評価、解析　 ・計算コード作成　　・実験　　　　・評価

研究の実施者間の関係（例：試験装置の設計、データ検証等）をそれぞれ記入

再委託先(連携機関)１:

＊＊＊（再委託する研究項目の内容）

再委託先（連携機関）２:

＊＊＊（再委託する研究項目の内容）

研究責任者ア

研究責任者オ

研究者イ

研究者カ

研究者カ

けんきゅいイ

研究者ウ

研究者エ

研究者ク

研究者キ

（様式Ｄ３）全体計画の内訳

（１）中項目等ごとの金額は千円単位（千円未満四捨五入）とし、原則として消費税込みで記載してください。ただし、人件費、謝金、外国からの購入等に係る、非課税・不課税取引の８％は中項目「消費税相当額」に計上してください。

（２）再委託先機関が存在する場合は、各欄に下段に経費を（　　）書きで機関別に内数で記入してください。

※再委託先機関がない場合はこの限りではありません。

（３）中項目「設備備品費」は、取得価格が１０万円以上かつ耐用年数が１年以上の機械装置、工具器具備品の購入、製造又は委託費で取得した機械装置等の改良に要する費用及び経費を計上してください。設備備品費で取得した物品は国へ所有権を移転することになります。

（４）国へ所有権を移転することが見込まれる試作品については、中項目「設備備品費」に計上してください。

（５）中項目「人件費」は業務・事業に直接従事した者の人件費で補助作業的に研究等を担当する者の経費も含まれます。また、国の補助金等からの人件費支出との重複は認められません。

（６）中項目「外注費」は、試験片の加工や、計測等を外注する経費を計上できますが、委託業務に専用されている設備備品で委託業務使用中に故障したものを補修する場合も含みます。

（７）中項目「光熱水料」は、間接経費からの支出では見合わない試験等による多量の使用の場合のみ、かつ、原則個別メーターがある場合のみ計上してください。

（８）大項目「間接経費」は、本事業遂行に関連して間接的に必要となる経費（直接経費の３０％）です。

（９）年度は、該当の欄のみ記入してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．年度別所要経費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円） | | | | | |
| 大項目 | 中項目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 計 |
| 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.人件費  ・謝　金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝　金 |  |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |  |  |
| 会議費 |  |  |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |  |  |
| 光熱水料 |  |  |  |  |
| その他  （諸経費） |  |  |  |  |
| 消費税  相当額 |  |  |  |  |
| 5.間接経費  上記経費の30% |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

（様式Ｄ３つづき）

(1)　「研究項目・品名」は、「（様式Ｄ２）２．研究内容」の研究項目毎に品名を整理して記入してください。

(2)　金額欄には既に保有している場合は「０円」と記入してください。リース・レンタルの場合は研究期間全体での総額を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ２．研究に必要な施設及び設備備品・機器 | | | |
| 研究項目・品名 | 用途 | 金額  （千円） | 保有・購入・リース・レンタルの区分 |
| 【研究項目】  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  　【研究項目】  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・ |  |  |  |

（様式Ｄ４）機関別研究計画

（１）機関ごとに作成してください。

（２）「２．機関の研究代表者名」には、主委託先機関の場合は研究代表者、再委託先機関の場合は研究責任者の氏名を記入してください

（３）「３．研究課題」に記載する「研究項目」は「（様式Ｄ２）２．研究内容」の研究項目を記入

してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．機　関　名 | |  | | ２．機関の代表  研究者 |  |
| ３．研究課題  （再委託先機関は研究項目） | |  | | | |
| ４．年次計画  年度別に具体的に記載してください。 | | | | | |
| ５．平成２７年度における業務の内容  業務項目別に具体的に記載してください。 | | | | | |
| ６．業務の実施場所、責任者及び分担実施者 | | | | | |
| 業務項目 | 実施場所（機関名、所在地） | | 研究責任者（氏名、ふりがな、所属、役職、連絡先：Tel, Fax, E-mail） | | |
|  |  | |  | | |
| 業務項目 | 実施場所（機関名、所在地） | | 分担研究者（氏名、ふりがな、所属、役職、連絡先：Tel, Fax, E-mail） | | |
|  |  | |  | | |
| ７．テーマに関連してこれまで受けた研究費と成果等 | | | | | |

（様式Ｄ４のつづき）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ８．平成２７年度の所要経費 | | | | | | |
| 大項目 | | 中項目 | 主な品名・仕様・数量等 | | | 金額（千円） |
| 物品費 | | 設備備品費 |  | | |  |
| 消耗品費 |  | | |  |
| 計 | | | |  |
| 人件費・謝金 | | 人件費 |  | | |  |
| 謝金 |  | | |  |
| 計 | | | |  |
| 旅　　費 | | 旅　　費 |  | | |  |
| 計 | | | |  |
| その他 | | 外注費 |  | | |  |
| 印刷製本費 |  | | |  |
| 会議費 |  | | |  |
| 通信運搬費 |  | | |  |
| 光熱水料 |  | | |  |
| その他  （諸経費） |  | | |  |
| 消費税相当額 |  | | |  |
| 計 | | | |  |
| 間接経費 | | 上記経費の30% | | | |  |
| 総額 | | 合計 | | | |  |
| ９．  経理  担当者 | ふりがな氏名 |  | | 所属・  役職 |  | |
|  | |
| 連絡先 | Tel.　　　　　　　　　Fax.　　　　　　　　　E-mail | | | | |
| 所在地 |  | | | | |

（様式Ｄ５）研究代表者及び研究者の研究歴等

（１）「（様式Ｄ２）４．研究実施体制」に記載した研究者全員について記載してください。

（２）各研究者の研究業績については（様式D６）に記載してください。

（３）採択後採用するポストドクター等については記載する必要はありません。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな  研究者氏名  （所属機関名・  所属部署・職位） | 生年月日  （西暦） | 最終学歴  及び学位 | 専門分野 | 研究歴（受賞歴・表彰歴を含む） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（様式Ｄ６）研究者調書

（１）研究実施体制に記載した研究者全員について記載してください。

（２）各研究者当たり１ページ以内にまとめてください。

（３）「主な知的財産」には、本申請に関連したもの5件以内を、本申請との関連性についても記載してください。

（４）「例示：特許等」の欄にはない場合は「なし」と記載してください。

（５）「課題の区分」には、「（様式Ｄ２）「研究内容」に記載した項目を記入してください。

（４）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所属機関・部署・役職・機関コード番号 |  | | | | | ふりがな  研究者氏名 |  | | |
| 本事業のエフォート率 |  | | ％ | e-Radの研究者番号  科研費研究者番号（８桁） |  | | 生年月日  （西暦） |  | |
| 研究業績（最近５年間に発表した主な論文のリスト、そのうち本申請に関連したもの5件以内に○印を付してください。  発表論文名・著者名等（論文、著書名、著者名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後のページ、発表年(西暦)について記載してください。) | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| 主な知的財産 | | | | | | | | | |
| 例示：特許等 | | | | | | | | | |
| 本事業における他の課題の応募状況 | | | | | | | | | |
| 課題の区分 | | 課題名 | | | | | | | 申請区分  （代表機関／再委託先機関） |
|  | |  | | | | | | |  |
|  | |  | | | | | | |  |

（様式Ｄ７）他制度等による助成

（１）研究代表者及び分担研究者のうち、他制度（公的資金）による助成を受けているもの及び申請中のものがある場合には、以下のとおり必要事項を記載してください。再委託等で他機関を通じ通じて助成を受けているもの、申請中のものも含みます。

（２）不合理な重複などの判定に使われますので、本申請との違いは明記するようお願いします。

（３）該当がない場合には、「助成制度」の欄に「なし」と記入してください。

1.実施中の研究テーマ

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | 助成制度 |  | | | | | |
| 研究者氏名 |  | 当該研究者の役割 | |  | | |
| 研究テーマ |  | | | | | |
| 研究期間 | 平成　　年　　月　～　平成　年　月 | | 平成２７年度エフォート | |  | ％ |
| 助成金合計  （見込み） | （本人／課題全体）平成２７年度　　　千円／　　　千円　　期間全体　　　千円／　　　千円 | | | | | |
| 本申請との違い |  | | | | | |
| 2 | 助成制度 |  | | | | | |
| 研究者氏名 |  | 当該研究者の役割 | |  | | |
| 研究テーマ |  | | | | | |
| 研究期間 | 平成　　年　　月　～　平成　年　月 | | 平成２７年度エフォート | |  | ％ |
| 助成金合計  （見込み） | （本人／課題全体）平成２７年度　　　千円／　　　千円　　期間全体　　　千円／　　　千円 | | | | | |
| 本申請との違い |  | | | | | |

2. 申請中の研究テーマ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | 助成制度 |  | | | | | | |
| 研究者氏名 |  | 当該研究者の役割 | |  | | | |
| 研究テーマ |  | | | | | | |
| 研究期間 | 平成　　年　　月　～　平成　年　月 | | 平成２７年度エフォート | |  | ％ | |
| 助成金合計  （見込み） | （本人／課題全体）平成２７年度　　　千円／　　　千円　　期間全体　　　千円／　　　千円 | | | | | | |
| 本申請との違い |  | | | | | | |
| 2 | 助成制度 |  | | | | | | |
| 研究者氏名 |  | 当該研究者の役割 | |  | | | |
| 研究テーマ |  | | | | | | |
| 研究期間 | 平成　　年　　月　～　平成　年　月 | | 平成２７年度エフォート | |  | | ％ |
| 助成金合計  （見込み） | （本人／課題全体）平成２７年度　　　千円／　　　千円　　期間全体　　　千円／　　　千円 | | | | | | |
| 本申請との違い |  | | | | | | |

※上記記入内容について、事実と異なる記載をした場合は、研究開発課題の不採択、採択取り消し又は減額配分とすることがあります。

（様式Ｄ８）用語の説明書

本提案書類で記載している専門用語及び略語のうち、難解な専門用語等を記載されている場合等、特に必要と思われるものについて、簡単な解説を記載してください。なお、用語の説明書はより的確な審査を目的としたもので提出を義務付けるものではありません。（記載形式は自由です）

提案書類チェックシート（テーマＤ１～Ｄ２用）

提案書類について、欠落がないかチェックしてください。提出は不要です。

応募書類の提出先等については、

公募要領の「Ⅲ．計画の策定と提案書類の作成　２．提案書類の作成」を確認ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| チェック欄 | チェック項目 | | 備考 |
| □ | 様式Ｄ１ | 申請書 | － |
| □ | 様式Ｄ２ | 提案課題全体の研究計画 | ５ページ程度 |
| □ | 様式Ｄ３ | 全体計画の内訳（年度別所要経費、研究開発に必要な施設及び設備備品・機器） | － |
| □ | 様式Ｄ４ | 機関別研究計画 | 機関ごとに作成  ３～５ページ程度／１機関 |
| □ | 様式Ｄ５ | 代表研究者及び究者の研究歴等 | － |
| □ | 様式Ｄ６ | 研究者調書 | 研究者ごとに作成  １ページ／１研究者 |
| □ | 様式Ｄ７ | 他制度等による助成 | － |
| □ | 様式Ｄ８ | 用語の説明書 | 必要に応じて作成 |